

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年7月16日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	諏訪市	代表者名	諏訪市長 金子ゆかり
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0266-52-4141
担当者役職		担当者氏名	
住所	392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなどころがよかったか等詳細に)	応募依頼させていただいた①統合型GISについては、導入から市内の運用が確立されるまで、ご自身が有効だと感じた情報を多数提供いただき、当市における今後の検討材料として非常に参考となった。②業務効率化については、急遽お話を伺いたいとした内容にもかかわらず、会津若松市で取り組む状況を中心にご支援いただき、これからこういったステップで取り組むべきかという状況の当市職員にとっては非常に参考となった。①②を通して有意義な時間となった。
アドバイザーへの要望事項	今回ご支援いただいた内容について、同じ行政職員の立場として今後ともアドバイスをいただける部分があれば引き続きお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月2日	9時00分	17時00分	90	390
3-2. 派遣場所	会場名	諏訪市役所(又は駅前交流テラスすわっチャオ)		最寄駅	上諏訪駅
	所在地	諏訪市高島1-22-30(又は諏訪市諏訪1-6-1)			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	①統合型GISを含む市内のGIS等地図情報の運用状況について、効果的な利活用ができておらず、縮減が見込めるコストがあると考えている。それにあたり、統合型GISの見直しも考えて運用状況改善を図りたいが、見直しをする場合、導入経費と比較した費用対効果が見込めるようシステムの提案を依頼したい。 ②人口減少に伴う職員減少が予測される中、AI・RPA等を利用した業務効率化を図りたい。職員の知識不足があるため、多方面から情報収集及びスキルアップを行っていききたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①統合型GISを効果的に利活用している会津若松市の事例やアドバイザーの知識を取り入れ、諏訪市の現状から運用改善が見込めるよう情報提供依頼書を作成したい。また、他自治体の事例を参考に継続性のある運用方法や運用体制についても構築できるような情報収集及びスキルアップを行いたい。 ②他自治体に先駆けてAI・RPA等を利用した業務効率化を検討している会津若松市の事例から、諏訪市が業務効率化を行うにあたって情報収集及びスキルアップを行い、市内で共有を図りたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①統合型GISを利活用する上で、共有が効果的な性質のデータやその活用方法等について支援いただいた。また、安価で職員が使いやすいとされる地図データの提案や、統合型GISを効果的に利活用するためには導入後の市内体制が大切だとお話をいただき、会津若松市の事例について紹介いただいた。 ②AI・RPAを検討する上で、BPR(業務プロセスの見直し)も同じレベルで考えなければならず、会津若松市もBPRを行っている最中であり、その手法等について支援いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	①統合型GISの見直しにあたり、情報提供依頼書を作成していた段階であったが、今回支援いただいた内容を反映させ、情報提供依頼書が作成できた。また、具体的な運用方法や運用体制について支援いただいたことで、導入後の運用についてもより具体的に検討できる状況となり、費用対効果の捻出ができる運用方法について検討していききたい。 ②まずBPRを行う必要があることについて、担当職員の共通認識を持つことができた。事務の見直しを行うために実施している「業務進行シート」の活用を考えながらBPRの具体的な方法を検討していききたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	①今回は情報提供依頼書の作成まで支援いただいた。今後提出される提案によって運用方法も異なるため、実運用については提案等により引き続き検討していききたい。 ②業務効率化を行っていくスキルアップの段階であり、今後も課題が出てくると考えられる。BPRの具体的な方法を中心に引き続き検討していききたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演・セミナー形式でなく、課題に応じて少数職員に先行事例等を支援いただく自由討論形式としたため、アンケートを実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	①②いずれも現状の運用改善が見込め、費用対効果が捻出できる見込みとなれば事業化されるものとなる。今回支援いただいた内容を反映し、導入後の継続的な運用が確立される体制まで構築したい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年7月16日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	諏訪市	代表者名	諏訪市長 金子ゆかり
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0266-52-4141
担当者役職	主任	担当者氏名	柳平高佑
住所	392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなどころがよかったか等詳細に)	①1日目同様。②マイナンバーカードの活用については、急遽お話を伺いたいとした内容であったが、マイキープラットフォーム活用以外でも特設サイトの運営等の会津若松市の状況についてご支援いただいたり、検討チームを設置して継続した検討を行っている点も参考となった。③SNSの活用については、伊藤氏が4月より着任したとの情報から、急遽お話を伺いたいとした内容であったが、会津若松市の事例は非常に参考となり、当市の担当者とも活発な意見交換が行われた。①②③を通じて有意義な時間となった。
アドバイザーへの要望事項	今回ご支援いただいた内容について、同じ行政職員の立場として今後ともアドバイスいただける部分があれば引き続きお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月3日	9時00分	15時30分	60	330
3-2. 派遣場所	会場名	諏訪市役所(又は駅前交流テラスすわっチャオ)		最寄駅	上諏訪駅
	所在地	諏訪市高島1-22-30(又は諏訪市諏訪1-6-1)			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	14人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	①1日目同様。 ②国ではマイナンバーカードの活用を推し進めるが、市としては交付率が低い現状等から事業化までは至っておらず、判断が難しい状況。他自治体の事例等から有益な情報を取得したい。 ③一昨年より市の公式SNS等を運用しているが、担当者の負担やより効率的な活用方法について、課題と感じている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①1日目同様。 ②会津若松市の事例や他自治体の事例において、運用が成功している事例等あれば、当市で事業化に至った際の参考としたい。また、職員のスキルアップにつなげたい。 ③会津若松市の事例や他自治体の事例において、SNSの効率的な活用方法や話題性のある取り組み等あれば、当市の活用方法の改善や職員のスキルアップにつなげたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①1日目同様。特に情報提供依頼をするにあたり、当市で感じている課題や要望をどう記載して伝えていくべきか、ご支援いただいた。 ②会津若松市でもマイキープラットフォームまで至っていない。ただ、マイナンバーカード活用検討チームとして取り組んでいることや課題や弊害となっている部分について、国の考えも含めてご支援いただいた。 ③会津若松市の市民参加型の取り組みや運用方法についてご支援いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	①1日目同様。 ②マイナンバーカードの活用について、運用において課題となることや取り組みを始めた場合に自治体を受けるメリットの創出が難しい状況にあることなど、情報の共有ができた。 ③SNSにおけるIT技術を用いた工夫した取り組みや市民参加型の取り組みについてお話を聞くことができ、公式SNSの運用方法について考える良い機会となった。広報誌、ホームページを含めたチェック体制等についても参考となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容(具体的にご記入ください)	①1日目同様。 ②互いにマイキープラットフォームの活用はできておらず、マイナンバーカード普及率もほぼ同等の状況。マイナンバーカードの活用については今後とも有益な情報の収集に努めていきたい。 ③庁内のSNSアカウントの発行・管理方法等、セキュリティ面で課題として認識している部分があるが、会津若松市の事例からは解決されなかったため、引き続き検討していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 1日目同様、講演・セミナー形式でなく、課題に応じて少数職員に先行事例等を支援いただく自由討論形式としたため、アンケートを実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	①1日目同様。 ②メリットの創出が見込める状況となれば、事業化を検討していきたい。 ③担当者に負担がかからない形で、市民とのつながりが大きくなるような運用方法を目指したい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

